



おめでとう！！ 習志野高校 ^{ふくざわあやか} 福澤彩佳さん
2009年全米姉妹都市青少年絵画コンクールで最優秀作品に選ばれる。

◆タスカルーサ通信◆

姉妹都市部会 今井洋子



課題テーマ：Your Path for Peace
(貴方が考える平和達成への道)

習志野高校の福澤彩佳さんの作品が、2009年全米姉妹都市青少年絵画コンクールで見事最優秀作品賞を受賞しました。米国には126カ国、2,500以上の姉妹都市委員会があります。各姉妹都市委員会に応募された絵画総数は50,000点を超え、その中から福澤さんの絵が最優秀作品に選ばれたのです。

福澤さんはこの絵を描いた時の気持ちを全米姉妹都市委員会に次の様に伝えました。

「私は戦争など無い世界を願っています。かつて戦場だった場所は沢山の花で埋め尽くされることでしょう。私はこの絵を描きながら、世界平和のイメージとして、『成長した木がその逞しい根で戦争をしっかりと押さえ込み、その横で少女が楽しそうに花をつんでいる』そんな光景をいつも思い描いていました。“永遠の平和”こそ、私の願いです。」

I am hoping that wars will be gone away from the world and that lots of flowers will be bloom in the places where used to be battlefields. While I was drawing this painting, the image of peaceful world where trees have grown up on the tank and a girl is picking flowers with joy was always in my mind. "Everlasting peace"

(英訳：水島真一郎先生)



向かって右側が福澤さん



美術部新入部員の皆さんと、顧問の大森裕次先生

★前顧問の宮原志司子先生は、四街道北高校へ異動されました。在任中に2人の生徒（2006年若林沙織さん）をこの名誉ある受賞へのご指導下さいました。ありがとうございました。

千葉工業大学との連携について

会長 山田大三

本年度から、千葉工大事務局長の金子和弘氏を外務理事の一人としてお迎えいたしました。

かねてより、千葉工大は多くのインターナショナルプログラムを実施しており、多数の外国人学生が学ぶ大学であることをお聞きしていましたので、私どもの活動にご支援を賜りたいという意味から、当協会より特にお願いをしてお招きいたしました。



千葉工大 新1号棟 20階建の威容（右側）

金子新理事から大学の概要についてお話を伺いました。

「当大学は教育実習生を引き受けてもらう関係もあって、習志野市教育委員会とは、相互協力協定を結んでいます。外国人学生の数は、世界規模の経済リセッションなどもあって、現在は約70名ですが、一時は200名を超える学生が学んでいました。従来から中国人学生の比率が高い傾向にあります。（現在、当協会の日本語学習教室で学ぶ中国人学生も何人かいます。）また、以前よりロボット研究には精力的に取り組んでおり、中でも救難ロボットの研究に特に力を入れています。」などなど、興味の尽きないお話でした。

来年6月には、姉妹都市のタスカルーサ市から高校生がやって来ることになっていますので、当協会としては、日本の最先端技術研究の粋を集めた「千葉工大のキャンパスツアー」をぜひ企画したいと考えています。

さらに青少年部会を中心に呼びかけて、大学進学を考えている高校生を募って、見学ツアーを行なうことも検討しています。習志野市の将来のリーダーとなる彼らに、JR津田沼駅前にあるメインキャンパスの威容を誇るタワー最上階から我がまち習志野市の眺望を楽しんでもらいたいと思っています。

総会終了後「会員のつどい」

交流文化部会 吉田武

毎年5月には習志野国際交流協会の総会が開催されます。総会では決算報告や事業報告などが行われ、出席会員の皆様からご質問や貴重なご意見を頂戴しています。総会終了後、出席していただいた会員の皆様と、交流や親睦を深めるため開催しているのが「会員のつどい」です。



山田大三会長（左から2人目）を囲んで

現在習志野市国際交流協会には約620名の会員がいますが、我々のようなボランティアや日本語を学んでいる外国人、一般市民の方、法人会員など会員も多岐にわたり、一堂に会する機会は限られています。ですから、総会後の「会員のつどい」は、千載一遇とまでは大袈裟ですが、普段お目にかかれない会員の皆様にお会いし、歓談の中で貴重な情報やアドバイスを頂戴できる絶好の機会なのです。

今年も、5月16日サンロード6F大会議室で外国人を含む70名の会員が参加して「会員のつどい」が開かれました。山田会長、林顧問の挨拶に始まり、本城副会長の乾杯の音頭で、ささやかなパーティー「会員のつどい」がスタートしました。宴もたけなわでしたが、午後1時30分、吉村副会長の挨拶で無事閉会しました。

出席されました会員の皆様、関係者の方々ありがとうございました。



きらっと2009「サンバパレード」に参加

交流文化部会 吉田 武

習志野市の市民まつりは、市制施行 40 周年を記念して、平成 6 年に市民団体が集まって構築させたまつりで、今年も 15 回目を迎えました。

市役所通りで行われる 5 部門のパレードも年々増え続け、今年も 20 団体 1000 人弱の人たちが参加しました。

習志野市国際交流協会も、昨年に引き続き、「大人サンバパレード」に参加しました。今年も総員 39 名（内、外国人 24 名）の大世帯となりました。国際色豊かな我がチームには沿道の声援も多く、カメラのリクエストに応えるのも一苦労でした。私たちのパレードは午後 6 時 35 分にスタートし、最終のゴールとなった市役所グラウンドまで、参加者全員サンバのリズムに合わせて、一生懸命踊り続けました。

その雰囲気は、ここが地元「習志野」であることを忘れさせるほどの迫力で、本場リオのカーニバルに勝るとも劣らないくらいです。真夏の約 1 時間を全員元気にダンスし、無事目的地に到着。お疲れさまでした。



サンバを楽しむ NIA のダンサーたち

今年ちょっと自慢なことは、昨年の入賞チームがパレード終了後、会場に設置された舞台上で、それぞれダンスを披露する機会を与えられたことです。当国際交流協会も 4 名が舞台上で華麗なサンバを踊り、喝采を浴びました。そして、国際交流協会の参加者全員がプラカードと共に舞台上に上がり、PR をしてきました。

すっかり陽も落ちて、祭りも終わりが迫った会場には、祭りやパレードの余韻を楽しむかのように、

まだ多くの人たちが残っていました。

残念ながら、今年も入賞を果たすことができませんでした。しかし、わがチームは外国人の参加者が予想以上に多く、国際色豊かなチーム編成ができたものと自画自賛しています。きっと、来年も楽しいサンバパレードになるものと期待されます。



国際交流協会編成チームの人たち

「たかがサンバ、されどサンバ」で、我々参加者は、当日まで専門家に厳しいダンス指導を受けてきました。特に、多くの外国人の方たちが忙しい仕事の合間を縫って、今年も熱心に練習に参加し、汗を流してくれました。

さて、「なぜ市民まつりにサンバか」とよくきかれるのですが、正直なところ、わかりません。ただ、4 分の 3 拍子のダンス音楽であるサンバの起源は 19 世紀のブラジルに始まるという説が有力です。

一説では、ブラジルの港町バイア（現在のサルバドール）に住んでいたアフリカ人奴隷の踊りが元になっていたと言われています。

なお、サンバは多岐にわたっており、細かいものまで含めると、リズムやスタイルは 100 種類を超えるようです。

しかし、私たちが楽しんでいる「習志野市のサンバ音楽」は、独特のアレンジをされていて、サンバを踊ったことの無い人たちも思わず体を動かしたくなるような軽快な曲となっています。

皆さん、来年は私たちと一緒にサンバを踊って、楽しいひとときを味わってみませんか。きっと病みつきになるものと確信しています。

E 英語講座が開設されました

語学研修委員会 西 浦 利 清



ジェシカ先生（向かって右側）と

語学研修委員会は、今年度の語学研修講座として、従来からの中国語、韓国語講座に加え、ここしばらく実施していなかった英語講座を追加し、5月に3カ国語の講座を開講しました。

講師としてジェシカ西條（JESSICA SAIJO）さ

英語講座の講師になって

英語講座講師 ジェシカ 西 條

Inside story : Being a part of this pilot program on English Language class, it is of great honor and privilege to be chosen as an instructor. This has been made possible after a thorough planning by several members of NIA especially headed by Chairman D. Yamada. In such a deliberate way that it also includes a set of questionnaire for the enrollees as reference for topics to be taken besides the textbook.

Impression : I am very grateful of the output since all students are very receptive, cooperative, dedicated and most of all enthusiastic despite the differences in age and engagements. Like music, they seemed to be in harmony. As they are able to make new sets of friends, everyone's supportive with one another obviously seen during pair work. A student-centered approach I should say is adaptable. But like most rules, there are also exceptions, some are shy enough to speak up.

んをお招きした英語講座には、定員 15 名の募集をしたところ 60 余名の応募がありました。定員を 18 名に増やしましたが、それでも約 40 名の方たちのご希望に沿うことができませんでした。国際語である英語を学びたいという方々の多さを改めて認識した次第です。

さてジェシカさんの授業は、「初級英会話を中心に、歌やゲームを通して、楽しみながら英語を学ぼう」というもので、誰でも気軽に参加できます。これを機会に国際語である英語に親しみ、外国旅行の際や外国から来られて習志野市及びその周辺に住んでいる方々と草の根レベルの交流などに活用できることを希望しています。

本年度の英語講座の応募者が予想以上に多かったことを考慮して、来年度は初級コースの継続をはかり、かつ中級コースやコミュニケーション能力の向上を図る新コースの開設も検討したいと思います。中国語と韓国語の両講座と同様、英語講座の今後にもご期待ください。

Although, we just barely finished one semester, progressive signs are visible and students are looking forward to being able to express themselves with confidence in speaking English.

Just like a team, aiming to one direction, with my guidance, I say, "Yes, we can." Thank you!



ジェシカ先生の明るい授業風景

(英語要約)

英語クラスの初歩プログラムを担当する講師に選ばれたことは、大変名誉なことだと思っています。N I Aの委員や山田会長たちによって計画されてきたことです。

全ての生徒が年齢や立場を超えて、前向きで、協力的で、ひたむきで、講座に熱中しているその姿を

非常に嬉しく思います。音楽に例えれば、ハーモニーが取れている状態です。彼らが何組もの友だちをつくれるように、ペヤー・ワークでは、お互いに支えあっているのがよく解ります。私の近くにいる人の話は聞きとれるけど、そういう人は例外であって、ほとんどの生徒は内気で発言も少ない。

丁度一学期が終了しましたが、皆さんには進歩の様子が見られます。生徒たちは自信をもって英語で自分の思いを表現したいと望んでいます。丁度、最初の指導で私が言った "Yes, we can." のように、今や、彼らは一つの方向を目指しているチームとなりました。謝 辞

英語講座を受講して

英語受講生 岩 澤 亜紀子

来年、海外で生活している友人を訪ねるため英語を勉強しようと思っていましたが、偶然習志野市の広報の中に NIA の英語講座の募集を見つけ、応募しました。1 回の授業は 90 分と長いのですが、講師のジェシカ先生の話術に引き込まれ、いつもあっという間に終わってしまいます。授業は教科書のほかに英語の歌やロールプレイングの会話が組み込まれていて、そのまますぐに使える英語を勉強しています。

まだ自分の思い通りに話すことができず、時にはくじけそうになりますが、先生やクラスメートに会うことが楽しくて、前期を皆勤で終わることができ

ました。秋期、冬期の授業を終えた時には今よりもっと自由に話せるようになるものと期待し、これからも勉強を続けようと思っています。



右から 2 人目が岩澤亜紀子さん

青少年部会の活動

青少年部会員 陳 義強



6 月 13 日の土曜日、青少年部会は部内で親睦を深めるためにボウリング大会及び親睦会を開催しました。6 人の部会員が参加してスコアを競いあいました。その後、友人なども参加して懇親会は美味しい食べ物と楽しい会話で盛り上がり、すばらしいひと時を過ごすことができました。

次回は 10 月 31 日（土）午後 2 時から 3 時半まで NIA 事務局でハロウィン仮装コンテストを開催いたします。

皆さん、仮装して参加してくださいね、ワンポイントで結構ですから。

素敵なおプレゼントやお菓子を用意して、皆さんのご参加をお待ちしています。



友人たちを交えた懇親会

お問い合わせは
習志野国際交流協会事務局 まで

「世界の料理教室」中国本場の家庭料理

文化委員会 日野陽子

文化委員会は、様々な国の食文化による交流を通して、相互理解を深め、親善を促進することを目的に、手に入りやすい材料でできる世界各地の料理を作ろうと、会話を楽しみながら調理する「世界の家庭料理教室」を開催してきました。

今回は、料理講師として協会の郭泰基さんをお招きし、中国の家庭料理「大根餃子」と「麻婆豆腐」を教えてくださいました。参加者は外国人6名を含め22名となりました。



左から2人目が郭泰基さん

郭泰基さんは、日本語教室の中級学習者で、「日本語を日本人と交流することができるほど上達したい」として、毎週月曜日に日本語講師の栗原七郎先生のもとで、熱心に日本語学習に取り組んでおられます。



中国本場の家庭料理を味わう参加者

「大根餃子」は、生地作りから始まりました。私は生地作りが初めてで戸惑いましたが、やはり生の生地での餃子は食感が良く、抜群でした。また、「麻婆豆腐」は、2センチ角に切った木綿豆腐に味噌の風味が良く、中国本場の家庭料理を味わうことができました。

郭泰基さんの熱心な料理の手ほどき、ありがとうございました。

「日本文化セミナー」能の楽しみ方

文化委員会 日野陽子

「日本文化セミナー」では、茶道や華道の体験及び琴などの伝統楽器の演奏・鑑賞等を通して、協会員や市民の皆様が日本の伝統文化に触れ、学ぶ機会を毎年度一つ選んで、紹介してきました。

今年度は、室町時代に完成し、600年の歴史を持つ伝統芸能の能楽をテーマとして、初心者にも解る「能の楽しみ方」を勉強することにしました。



青木能楽師「能の楽しみ方」講演

講師をして戴きました青木一郎先生は、能楽師であり、重要無形文化財能楽総合指定、日本能楽协会会员で、様々な場所で積極的に能楽の普及に取り組まれている方です。



「船弁慶」の静御前

今回のセミナーには、7月の盛夏の中、また「能楽」という日頃馴染みの少ないテーマでしたが、100人という多数の方が参加されました。

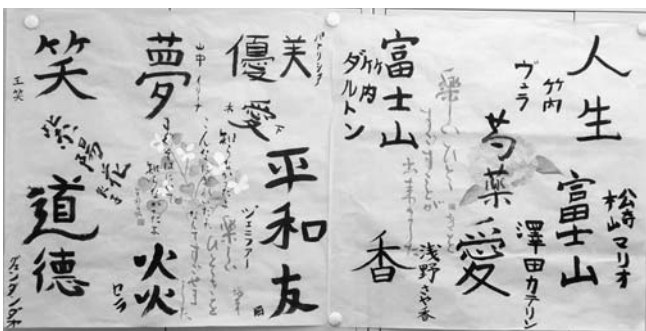
講演は、兄頼朝の追っ手を逃れる義経主従の物語「船弁慶」を題材にして、動作の意味や能の観どころ等をプロジェクターでスクリーンに拡大映像し、わかりやすく講義されました。

参加者の皆様には、能楽の幽玄の深みと伝統芸能の醍醐味を堪能していただけたものと思います。

あすなる会「書道」

日本語学習委員会 木下弘子

少しでも多くの外国人に日本文化をじかに触れてもらいたいという思いから、「あすなる会」と名付け、活動しています。年に3～4回、書道や房総花寿司、折紙などの体験学習を企画し、月曜と水曜の日本語学習講座終了後の1時間ほどを日本文化の体験講座として楽しんでもらっています。



今回は6月8日と10日に書道を行いました。初めは、筆を持つ手も震えていたのに、帰る頃にはすっかり慣れ、講師が用意した寄せ書き（写真参照）に堂々と言葉を書き残しています。その後ろ姿と個性溢れる書体は「あっぱれ！！」日本語学習の時とは違った生徒たちの一面が見られ、まさに新しい発見です。また、彼らの熱心さにも驚かされました。

七夕祭り

日本語学習委員会 佐々木 藍子

7月1日より6日までの学習実施日（4日間）それぞれに“七夕祭り”をしました。七夕祭りの由来の説明・七夕祭りの紙芝居・七夕祭りの合唱・短冊に願いごとを書いて笹につるすという例年実施していることに加え、今年は七夕祭りに関係のある“クイズ遊び”をしました。参加者総数は4日間で127名、そのうち外国人学習者は61名でした。



笹には、自分や家族の健康、日本語の上達、仕事のことなどいろいろな願いごとを書いた短冊を飾りました。土曜日の子供クラスでは、飾り付けた笹や折紙を持ち帰っていただきましたので、家族と一緒に七夕祭りを楽しめたものと思います。

今回の七夕祭りが参加された皆さんにとって、日本の伝統行事に一層興味を抱くきっかけになれば、とても嬉しく思います。

毎年青々とした笹を届けてくださるボランティア及び短冊や折紙などの作品を提供してくれた世話人の方たちに、心よりお礼を申し上げます。

読者の広場

◇越川桂子さん（屋敷）

「NIA スクウェア」を初めて拝見しました。タスカルーサ市と姉妹都市というのは以前から存じていましたが、いろいろな活動を知り、苦手な英語も少し身近に感じようになりました。ぜひ英語講座を拡大して頂きたいです。

◇横山美沙子さん（千葉市花見川区）

一人一人の尽力が合わさった素晴らしい協会だと感じます。国際的に限らず、「交流」することの根底には、「人としての優しさ」があつてこそ成り立つもの。大人の取り組みは必ず子供たちにも伝わっていくでしょう。私も何かの力になれたらと思いました。

◇中野綾子さん（津田沼）

初めて「NIA スクウェア」をじっくり読みました。習志野市が意外にも世界とつながっているのだなあと驚きました。タスカルーサ市の犬がオバマ大統領の犬に選ばれなかったという記事も身近に感じられて面白かったです。

編集後記

「NIAスクウェア」は創刊後22年目を迎えています。この間、世界は各方面でめまぐるしく変わりました。当然のことながら、日本も少子高齢化が進み、パソコンや携帯電話、薄型テレビ、映像ゲーム機器など情報関連機器が急速な進歩を遂げ、若者たちの嗜好も変わってきました。

そんな中、一部の会員から、今回編集責任者が交代するのを機会に、「NIAスクウェア」をみんなで見直しをしてはどうか、という提案がありました。そこで、会長・理事・委員長・事務局長・編集責任者が集って議論をした結果、「NIAスクウェア」を時代に見合ったものに作り変えようということになりました。

- * ひとりでも多くの人に読んでもらう。
- * 読みやすい、わかりやすい内容にする。
- * もう少し読者とコミュニケーションを図る。

上記を目標にして、読者の皆様の近況や面白い情報も頂戴し、みんなの力で「NIAスクウェア」を愛される会報に育てていくことを望んでいます。

右下の事務局まで手紙、FAX、Eメール等でお寄せください。原則的には投稿者のご氏名を掲載するつもりですが、匿名をご希望の方はその旨をお知らせください。皆様からのご投稿をお待ち申し上げます。

（編集部 白井）

Let's チャレンジ/ザ・英文クロスワードパズル

	A	P	R	I	L	
F		L	E	O		R
L	A	U	D		T	O
U	R	M		B	O	B
I	T		P	O	P	O
D		K	E	Y		T
	B	E	A	S	T	

〈前回の解答〉

ROSEBUD

《クロスワードパズル当選者》

恵比根 恒 子さん
 檜 原 由 希さん
 越 川 直 輝さん
 城 島 直 純さん
 前 田 和 江さん

お知らせ：
 クロスワードパズルは
 暫く休ませて頂きます。

NIA スクウェア・第 87 号

発行 2009年9月1日

習志野市国際交流協会

発行責任者 山田大三
 編集責任者 白井聖一
 〒275-0016
 千葉県習志野市津田沼5-12-12
 サンロード津田沼4F
 TEL/FAX 047-452-2650

http://www.nia08.com/
 〈Eメール〉 nia@seapple.ne.jp